

# 衆議院内閣委員会ニュース

平成 20.11.19 第 170 回国会第 4 号

11 月 19 日、第 4 回の委員会が開かれました。

## 1 銃砲刀剣類所持等取締法の一部を改正する法律案（内閣提出第 6 号）

- ・加藤勝信君外 3 名（自民、民主、公明、共産）提出の修正案について、提出者加藤勝信君（自民）から趣旨説明を聴取しました。
- ・原案及び修正案について、佐藤国家公安委員会委員長及び政府参考人並びに修正案提出者泉健太君（民主）に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・修正案について採決を行った結果、全会一致をもって可決されました。  
（賛成 - 自民、民主、公明、共産）
- ・修正部分を除く原案について採決を行った結果、全会一致をもって可決され、本案は修正議決すべきものと決しました。  
（賛成 - 自民、民主、公明、共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

### 田 端 正 広君（公明）

- ・昨日（18 日）発生した元厚生事務次官宅連続襲撃事件では刃物を使用されていた。刃物に対するより一層の厳重なるチェック体制、警察による取締りが必要であると考ええる。こうした刃物を用いた犯罪をどのように抑止していくのか。
- ・修正案により、内閣府令で定める要件に該当する医師の診断書の添付が義務付けられるが、山間部や離島など、猟銃所持者が多いとされる地域では、精神科等想定される専門医が少ない現実がある。こうした地方の実情に対し、現実的にどう対応しようと考えているのか。
- ・修正案により、銃砲刀剣類の本人への確実な引渡しの確保が求められることになる。特に、インターネット取引において本人確認を確実に行うには、業者に対する指導をきちんと行うべきと考えるが、確実な引渡しのため、どのように行政上指導していくつもりなのか。

### 大 島 章 宏君（民主）

- ・最近、警視庁警視による飲酒運転事件をはじめとする酒酔い運転や、無免許運転による事故が頻発している。アルコールを検知したり、免許証を差し込まないと車が動かないシステムの開発・導入が必要ではないか。
- ・猟銃等の所持許可申請における一定の医師の診断書の添付を義務付けること、猟銃の所持者に対する検査等の対象に実包の所持状況を記載した帳簿が加えられたこと、調査を行う間における保管制度の適用対象に刀剣類も加

えたこと、銃砲刀剣類の確実な引渡しを確保すること等を盛り込んだ修正案が提出されたが、その背景について修正案提出者に伺いたい。

- ・佐世保事件の背景には、近隣住民の通報への対応が不十分であったことがあげられているが、現場の警察官は忙しく、市民に親切に対応する余裕がないのではないか。交番等の人員を増やし、体制をしっかりと整える必要があると考えるが、佐藤国家公安委員会委員長の見解を伺いたい。

### 吉 井 英 勝君（共産）

- ・今回の銃刀法改正案では欠格事由に破産手続き開始決定を受けた者を追加するとしているが、経済的困窮者を食い物とする、ゼロゼロ物件のような貧困ビジネスが生まれ、直ちに実態を把握し、違法行為を取り締まる必要があると考えるが、警察庁はこの問題をどのように把握し、対応しているのか。
- ・そもそも経済的困窮者のためにセーフティーネットを張り直し、機能させることが重要である。これらの問題に対し、政府一体となって取り組んでいく必要があると考えるが如何か。
- ・佐賀県警の警察官が、2 度にわたり部下の女性に向けてけん銃を突きつけたという事案で、1 度目に起こった時点で、けん銃の取扱規範によって、けん銃を取り上げるべきではなかったのか。また、その取扱規範は全国的に統一した運用を行うべきではないのか。